

○道が実施する開発公共事業等に関する説明

事業名	北海道オホーツク地区水産環境整備事業		
事業内容	整理番号	整備対象漁場名	計画数量
	1	目梨泊地先漁場(囲い礁)	1.00ha
	2	北浜地先漁場(囲い礁)	2.40ha
事業計画期間 (全体)	令和5年度～令和14年度	計画事業費 (全体)	1,052百万円
整備の趣旨	<p>当地区ではホタテガイを除くと、回遊性魚種であるサケ、スルメイカへの依存度が高いが、これらは海水温上昇などの海洋環境の変化により近年大幅に漁獲量が減少している。</p> <p>一方、地先資源であるエゾバフンウニやソイ類、クロガシラガレイの漁獲量はエゾバフンウニの移植放流や刺し網漁業の網目制限といった資源管理の取組により比較的安定している。しかし、オホーツク海沿岸ではコンブ藻場が定着するための基質の不足により、エゾバフンウニの餌場、ソイ類等の幼稚魚育成場となるコンブ藻場が減少している。また、深場は餌となるコンブ藻場が少ないため、身入りが少なく未利用となっているエゾバフンウニが存在しており、資源の利用に課題がある。</p> <p>エゾバフンウニは潮間帯から水深50mまでの岩礁域に分布し、コンブなどの海藻類を摂餌する。ソイ類は幼稚魚期において沿岸の藻場を生息の場として過ごし、成長に伴い沖合の岩礁域に移動する。クロガシラガレイは宗谷暖流に乗って日本海北部からオホーツク海へ卵や仔魚が流され、幼稚魚期は浅場の砂礫帯で周辺の藻場などから供給される動物プランクトンを摂餌し、成長に伴い沖合における岩礁域周辺の砂礫帯や砂泥域に移動する。</p> <p>しかし、当地区ではエゾバフンウニの餌場やソイ類等の幼稚魚育成場となるコンブ藻場が定着するための基質が不足していることから、北海道オホーツク海海域藻場ビジョンに基づき、コンブ藻場が繁茂する水深に天端高を合わせた囲い礁を設置して、設置に合わせてウニ類の密度管理などの資源管理の取組と連携してウニ類の食圧過剰を抑制することで、持続的なコンブ藻場を造成し、エゾバフンウニやソイ類などの資源の安定・増加を図る。</p> <p>以上の取組により、当該海域の生産力向上を図り、持続可能な漁業生産の確保を目指す。</p>		

<p>事業採択基準</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 計画事業費が3億円以上 2. 漁港と漁場を一体的に整備する場合は次の要件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 1漁港当たり事業費が3億円超 (2) 次のいずれかの要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1漁港の利用実隻数、又は登録隻数が50隻程度以上 ・ 1漁港の陸揚金額が1億円程度以上 (3) 漁場施設ごとの要件 <ul style="list-style-type: none"> 魚 礁：事業量5,000空m³以上 増殖場：事業費5千万円以上 養殖場：事業費1億円以上 3. 漁場を単独で整備する場合は次の要件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 共同漁業権内の登録漁船数が100隻程度以上 (2) 2の(3)の要件を満たすもの
<p>道民意見と対応状況</p>	<p>道民意見は特になし</p>

水産環境整備事業基本計画書

1 地区名 北海道オホーツク地区

2 位置図等

都道府県名	北海道	所管名	北海道	関係市町村名	枝幸町、雄武町
地域指定	過疎、辺地、山村、特豪				
整備対象漁港名	—			整備対象漁場名 (関係漁港名)	目梨泊地先漁場、北浜地先漁場 (林ツク枝幸北漁港、枝幸港、林ツク枝幸漁港、幌内漁港、元稲府漁港、雄武漁港、沢木漁港)

位置図

